

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	カメレオン大橋			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日 ～ 2026年 1月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日 ～ 2026年 1月 23日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人の特性や気持ちを大切に、安心して過ごせる環境づくりを行っています	子どもの「できた」「やってみたい」という気持ちを大切にした関わりを心がけています	子ども本人の思いや意向を、年齢や発達段階に応じて支援に反映できるように取り組んでいます
2	職員同士で日々情報共有を行い、支援内容に一貫性をもって取り組んでいます	職員が無理なく支援に集中できるよう、業務の進め方や情報共有の方法を工夫しています	職員間での振り返りや学びの機会を大切に、支援の質の向上を目指します
3	保護者や学校、関係機関と連携し、子どもを中心とした支援を大切にしています	言葉で伝えることが難しい子どもについても、行動や表情から気持ちを汲み取る支援を行っています	保護者や関係機関との連携を深め、家庭や地域とのつながる支援を進めていきます

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペースに限りがあり、活動内容によっては工夫が必要な場面があります	施設環境や人員体制の制約により、活動内容や取り組みの幅が限られていることがあります	限られたスペースでも安心・安全に活動できるよう、活動内容や環境設定の工夫を行っています
2	地域との交流の機会が十分に持てていない状況があります 家族支援の取り組みとして、保護者やきょうだいが参加できる研修会・イベントの実施に至っていません	日々の支援業務を優先する中で、地域交流や家族向け企画に十分な時間を確保できていません	地域資源や関係機関とのつながりを少しずつ広げ、無理のない形で地域交流の機会を検討していきます 家族支援の充実を目指し、保護者向けの情報提供や、きょうだい支援につながる取り組みを段階的に検討していきます
3	保護者(職員を含む) に対して、安全計画や各種マニュアルを策定してしているものの、その内容について十分な周知ができていない点があります	マニュアル類が複数存在し、周知方法や確認の機会が十分に確保できていなかったことが、要因と考えています 職員全員が共通理解を持っていないことから、保護者へもマニュアルの周知が十分に行き届いていない部分があります	職員全員が共通理解をもって支援にあたれるよう、訓練やマニュアルが理解しやすい形での共有方法を見直し、定期的に確認する機会や周知の徹底を図っていきます